

十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的因子と予後に関する研究

1. 研究の対象

2008年1月1日から2017年12月31日までの間に当院および日本肝胆膵外科学会専門制度認定修練施設から募った研究参加施設で十二指腸癌に対し外科的切除術を受けられた患者さん。

2. 研究目的・方法

十二指腸癌は稀な疾患であるため、詳細な病態や適切な治療方針はいまだ不明です。本研究の目的は、2008年1月1日から2017年12月31日までの間に当院および日本肝胆膵外科学会専門制度認定修練施設で十二指腸癌に対して外科的治療を受けられた患者さんの治療成績を検証し、十二指腸癌診療の向上を図ることです。本研究は奈良県立医科大学を総括施設とし、多施設共同で研究を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床所見（年齢、性別、身長、体重、診断名、血液検査結果、治療内容、再発時期、再発部位、死亡時期、死亡原因）、画像所見、病理所見等。

4. 外部への試料・情報の提供

当院の外に個人を識別することが出来る情報の持ち出しは行いません。
対応表は当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表機関・代表者 奈良県立医科大学 消化器・総合外科学 教授 庄 雅之
共同研究施設 当科を含む138施設

(当科ホームページで公開：<http://www.ndmc.ac.jp/hospital/section/sui/>)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木3-2 防衛医科大学校外科学講座3 岩崎 寿光

電話：0429-95-1211

研究責任者：

防衛医科大学校外科学講座3 岸 庸二

研究代表者：

奈良県立医科大学 消化器・総合外科学 教授 庄 雅之